最小公倍数の求め方 まとめ

3つの方法と、使いみち。

① 倍数を書き出す

4の倍数：4、8、12、16、20、24…。6の倍数：6、12、18、24…。共通な数（公倍数）は12、24…。いちばん小さい12が最小公倍数。

② 大きいほうの数の倍数で調べる

6の倍数を 6、12、… と順に調べ、4でわりきれる最初の数 12 が最小公倍数。

③ すだれ算（連除法）

共通な数でわれなくなるまでわり、左のわった数と下に残った数をすべてかけます。4と6 → 2でわって 2と3。2 × 2 × 3 ＝ 12。

使いみち

通分するとき、分母の最小公倍数を共通な分母にします。

公倍数は、最小公倍数の倍数になっています（12、24、36…）。